

秋田県倫理法人会会報誌
RINGS

企業に倫理を 職場に心を 家庭に愛を
希望を高く 掲げよう 自ら動こう 855社 新たな時代を 突き進もう
秋田県倫理法人会では、心の経営を目指す人々のネットワークを広げる活動をしています

RINGS 02
2025-2026
AKITA-RINRI

秋田県倫理法人会会報誌「RINGS」
■発行日/令和8年2月15日 ■発行/秋田県倫理法人会 広報委員会 〒010-0951 秋田県秋田市山王3-3-9 電話018-865-1781
■デザイン・編集・印刷/株式会社秋田精工



研修委員会 令和8年度 県内レクチャー研修

■令和7年10月6日(月) ■ホテルメトロポリタン秋田

法人局普及事業部 北海道・東北方面 勝又 一真 研究員を講師に迎え、県内レクチャーとしての心構えや役割、体験報告の組み立て方、伝わる話し方の要点を学びました。研修では「実践なくして倫理運動はありえない」を軸に、倫理体験をありのまま語る大切さや、表現・話し方・時間配分など実践的ポイントを確認。後半はワークや実習を通して、承認と感動が生まれる場づくりを体験的に学び、今後は発表と相互フィードバックで講話内容を磨いていきます。

倫理経営講演会の予定

単会名	開催日時	会場
湯沢市倫理法人会	3月16日(月) 18:00~20:00	湯沢ロイヤルホテル
由利本荘倫理法人会	4月9日(木) 18:00~20:00	ホテルアイリス
秋田市・秋田北・秋田中央倫理法人会(主催単会:秋田市)	4月13日(月) 18:00~20:00	ホテルメトロポリタン秋田
能代山本倫理法人会	4月14日(火) 18:00~20:00	プラザ都
男鹿倫理法人会	5月15日(金) 17:30~19:30	男鹿市民ふれあいプラザハートピア
大曲倫理法人会	2月24日(火) 18:00~19:00	グランドパレス川端
大館市倫理法人会	3月25日(水) 18:00~19:30	大館市立中央公民館
横手市倫理法人会	4月22日(水) 18:00~19:00	松興会館



朝礼委員会 令和8年度 スタートアップ朝礼研修

■令和7年12月1日(木) ■ホテルメトロポリタン秋田

法人局普及事業部 北海道・東北方面 宇都 進(うと すずむ) 方面長を講師に迎え、朝礼を導入・定着させたい企業向けに朝礼研修を開催しました。研修では「活力朝礼」の基本構成や進め方を学び、姿勢・挨拶・返事を整えようという理念・情報共有をテンポよく行う重要性を確認。事例紹介や実習を通して各社で実践できる形を具体化し、朝礼の効果を共有しました。良い会社づくりには欠かせない「朝礼」。次回は5月11日(月)にブラッシュアップ朝礼研修が開催される予定です。機会があればぜひご参加ください。



上段)来賓・関係者・会員代表者による鏡開きの様子、下段左から)祝辞を述べる衆議院議員 富樫 博之様、男鹿市長 菅原 広二様、秋田市長 沼谷 純様 皆さん 秋田県倫理法人会の会員です。



編集後記

自分の会社は社員にとってどんな場か?—働きは最上の喜び。

この度は、倫理法人会会報誌『RINGS』をご覧いただき、誠にありがとうございます。今回は、はじめて開催された「新春賀詞交歓会」を中心にお届けしました。編集後記では、倫理法人会の教えの一つ「働きは最上の喜び」という言葉を取り上げたいと思います。

この言葉は、人が生きる意味や社会、そして企業経営の本質に通じる教えだと感じています。人は、働くことによって誰かの役に立ち、社会と関わる中で自分の存在価値を実感するのではないのでしょうか。そのとき、はじめて生きがい生まれ、心も前向きに保たれます。人生の大半を占める働く時間が、苦しみか喜びかによって、人生の質は大きく左右されると思います。

「働く」という言葉の語源には「人のために動く」という説があり、一方、中国では「勞」という文字が使われるといえます。自分のためだけの労力は疲労に変わりやすく、誰かの役に立っていると実感できる時、人は喜びと力を得るのでは

ないのでしょうか。しかし現代では、働くことが単に「生活のため」「数字のため」になりがちです。その結果、「何のために働くのか」を考える余白が失われ、働くことが消耗になってしまう場面も見受けられます。

ここで問われるのが、経営者の姿勢です。社員に言葉で伝えるだけでなく、仕事を通じて喜びを実感できる働き場をつくられているか。仕事の意味や社会とのつながりを示すことが、社員一人ひとりの働く喜びにつながるのです。また、経営者自身が喜んで働いているのかも重要です。その姿勢こそが、組織全体に働く喜びを伝えていくのだと思います。

いま一度、自らに問いかけたいと思います。自分の会社は「人のために動く」ことで喜びが実感できる場になっているのでしょうか。「働きは最上の喜び」という言葉は、経営者にこそ深く問いかけられている教えなのかもしれません。

広報委員長 二方淳介





【1】来賓・関係者・会員代表者による鏡開き(乾杯)の様子 【2】藤原会長の挨拶の様子
【3】司会を務める武藤 由貴副幹事長 【4】乾杯の発声をする佐々木徹副会長 【5】乾杯をする和やかなテーブルの様子 【6】【7】余興：秋田が誇る伝統芸能「西馬音内の盆踊り」の様子

初の試み「新春賀詞交歓会」

■令和8年1月7日(水) ■ホテルメトロポリタン秋田

令和8年1月7日(水)、県倫理法人会として初めての試みとなる「新春賀詞交歓会」をホテルメトロポリタン秋田にて盛大に開催し、県内各地から役職者を中心に会員70名が参加しました。本会は従来の勉強会やモーニングセミナーの枠を越え、会員企業、行政関係者、国会議員、市町村長などが一堂に会し、新年の挨拶と交流を通じて、地域の未来を語り合う場として企画されたものです。

開会にあたり、武藤 由貴 副幹事長の司会のもと、藤原 芳子 会長が新年の挨拶を述べました。藤原会長は、本賀詞交歓会について「倫理法人会として初めての取り組み」と位置づけたうえで、「純粋倫理を基盤に、経営者一人ひとりが学び、成長し、その力を地域社会の発展につなげていく。そのために、今日は立場や業種を越えて交流できる場になりたい。」と開催の趣旨を語りました。また、会員について「忙しい中でも早朝の勉強会に足を運ぶ、前向きで力のある経営者ばかり」と述べ、「今日はぜひ、たくさん名刺交換と情報交換をしていただきたい。このメンバーなら、秋田県、そしてそれぞれの地域をもっと

倫理の学びを軸に、行政・企業が一堂に会しました！

元気にできると信じている。」と、初開催への期待を込めて呼びかけました。

続いて、衆議院議員の富樫 博之様より祝辞がありました。富樫様は、自身も倫理法人会に関わる一人として本会に共感を示し、「こうした賀詞交歓会は初めてだが、とても意義深い場だ。」と評価。倫理法人会の理念である「企業に倫理を、職場に心を、家庭に愛を」に触れながら、人口減少や地域課題に言及し、「嘆くのではなく、ここに暮らす私たちが元気であることが何よりの力になる。」と語りました。さらに、新しいことに挑戦する年回りであるとして、「企業の皆さんには、会社経営はもちろん、新たなチャレンジを恐れず進んでほしい。」と力強くメッセージを送り、国政の立場からも秋田の未来づくりに尽力する決意を述べました。

男鹿市長の菅原 広二様は、「もう一度会いたいと思われる人になりたい。」という自身の信条を紹介し、人間力を高めることの重要性を強調しました。「優しさ、思いやり、明るさ、忍耐といった人間力を育むのが倫理の学び。企業の目的は社会問題の解決にある。」と述べ、

行政任せではなく、企業自らが地域課題に向き合う姿勢の大切さを語りました。良い経営者と良い社員が育つ企業文化こそが、少子化や人口減少といった課題解決につながるの考えを示しました。

秋田市長の沼谷 純様は、市長就任後の経験に触れながら、「人口の規模に関係なく、市民一人ひとりの生命と暮らしを背負うのが行政の責任」と述べました。本会のように、企業と行政が同じ場で顔を合わせる意義に触れ、「こうした新しい取り組みを通じて、皆さんの思いと情熱が実現していく一年にしたい。」と、新年への期待を語りました。

祝電披露の後には、来賓・関係者・会員代表者による鏡開きが行われ、会場全体で掛け声を合わせ、新年の繁栄と発展を祈念。乾杯の発声は佐々木 徹副会長が務め、参加者の健康、企業の繁栄、そして秋田県倫理法人会のさらなる発展を願いました。

余興では、秋田が誇る伝統芸能が披露され、初開催の賀詞交歓会に華を添えました。歓談の時間には、会員・来賓同士の活発な名刺交換や情報交換が行われ、従来の活動では生まれにくかった新たなつながりが数多く生まれました。



【8】【11】【13】【14】テーブルで盛り上がる会員たち 【9】受付を行なう事務局 佐藤 美穂さんと安田 拓也 副事務長 【10】情報を交換する佐藤 力也 相談役 【12】【15】中締めを行なう法人局 齊藤 実 法人スーパーバイザー

中締めでは、一般社団法人倫理研究所 法人局 齊藤 実 法人スーパーバイザーが登場し、倫理研究所創始80周年、秋田県倫理法人会36年の歩みに触れながら、「今の時代だからこそ、倫理の学びが必要。」と語りました。「企業に倫理があれば企業は永く続き、職場に心があれば人の問題は減り、家庭に愛があれば社会は安定する」と理念を改めて共有し、倫理運動の輪をさらに広げていく決意を参加者

全員で確認しました。

本賀詞交歓会は、倫理法人会として初めての試みでありながら、理念と実践、学びと交流を融合させた新たなスタートとなりました。秋田県倫理法人会は、今後も倫理を軸とした人づくり・企業づくりを通じて、地域社会の持続的な発展に貢献してまいります。



\ 役員はこんな人たちです /

県役員インタビュー

- ①社名 ②座右の銘は?
- ③好きな曲は?
- ④気持ちを高める時にする事は?
- ⑤愛読書は何ですか?

執行部

県の倫理法人会全体の運営・活動の責任者であり、地域社会への倫理経営の普及と、県内単体法人会の健全な運営を推進する役割を担っています。

MS委員会

毎週開催される経営者モーニングセミナー（MS）の質向上と活性化を目的に、明るく学びのある会場運営を行い、参加者の気づきと実践を支える組織です。

07

MS委員長



Tadahiko Horiguchi

堀口 忠彦(ほりぐち ただひこ)

- ①NPO法人ハートランドひまわり
- ②ありがとうございます
- ③「スーダラ節」/
ハナ肇とクレージーキャッツ
- ④発声練習
- ⑤思考の整理学の一節:触媒

01

県会長



Yoshiko Fujiwara

藤原 芳子(ふじわら よしこ)

- ①(特非)あきた福祉共生会
- ②「Every cloud has a silver lining.」
(全ての雲は銀の裏地がある)
- ③「365日」/Mr.Children
- ④映画鑑賞 & 読書
- ⑤「人を動かす」/デール・カーネギー

02

県副会長



Toru Sasaki

佐々木 徹(ささき とおる)

- ①むつみ建設(株)
- ②継続は力也
- ③「糸」/中島みゆき
- ④散歩
- ⑤孫子の兵法

08

MS副委員長



Sataru Yashihida

吉田 覚(よしだ さとる)

- ①アースワールド(株)
- ②万事塞翁が馬
- ③「地上の星」/中島みゆき
- ④月を愛でる
- ⑤三国志

朝礼委員会

会員企業に『職場の教養』を活用した活力朝礼を提案・指導し、企業の活性化や人材育成、明るい職場づくりを推進する組織です。

03

幹事長



Ryoichi Sato

佐藤 良一(さとう りょういち)

- ①みさとマーク(株)
- ②為せば成る
- ③「ボヘミアンラプソディ」/クイーン
- ④成功事例を思い出す
- ⑤推理小説全般

04

副幹事長



Yuki Muto

武藤 由貴(むとう ゆき)

- ①(有)ヘルシーアップル
- ②女は度胸
- ③「アイノカタチ」/MISIA
- ④ひとりカラオケ
- ⑤特になくその時々で必要だと感じた本

09

朝礼委員長



Hamako Fujita

藤田 浜子(ふじた はまこ)

- ①元気でねット(株)
- ②七転八倒
- ③「未来へ」/Kiroro
- ④ゲームで頭をリセットし、考えて分析し、やる気上げる
- ⑤推理小説

10

朝礼副委員長



Masahiro Shirano

白野 正弘(しらの まさひろ)

- ①石垣鐵工(株)
- ②無し
- ③「HERO」/甲斐バンド
- ④筋トレ
- ⑤「ダイヤモンドZai」/ダイヤモンド社

05

事務長



Syouji Yashinari

庄司 謹成(しょうじ よしなり)

- ①(株)ストラクス秋田
- ②聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥
- ③「大空と大地の中で」/松山千春
- ④何も考えずしばらくボーッとする
- ⑤その時のインスピレーションが合った本

06

副事務長



Takuya Yasuda

安田 拓也(やすだ たくや)

- ①(株)ベストム
- ②一念岩をも通す
- ③「ファンファーレ」/玉置浩二
- ④美味しいものを食べる
- ⑤本読まないです

研修委員会

純粋倫理に基づく「倫理経営」の体系的な学習と実践を通じて、豊かな人間性を備えたリーダー(経営者・後継者)を育成・養成することを目的とした組織です。

11

研修委員長



Sota Nakano

中野 創太(なかの そうた)

- ①(株)中野造園
- ②未来は明るい
- ③「GGGG」/SHINGO★西成
- ④気合いを入れる
- ④なし

12

研修副委員長

三村 眞 (みむら まき)



Maki Mimura

- ①三村眞事務所
- ②明けない夜はない
- ③「桃色吐息」/高橋真梨子
- ④ランニングマシンでとにかく走る
- ⑤「致知」/致知出版社

広報委員会

会の活動(モーニングセミナー、勉強会など)を内外へ積極的に発信し、会員の実践や学びを共有・魅力として伝えることを目的とした組織です。

13

広報委員長

二方 淳介 (ふたかた じゅんすけ)



Junsuke Futakata

- ①株式会社 幕の内
- ②雲外蒼天
- ③「ひこうき雲」/荒井(松任谷)由美
- ④描きたい絵を描く
- ⑤「ノルウェイの森」/村上春樹

14

広報副委員長

佐藤 和真 (さとう かずま)



Kazuma Sato

- ①EEL
- ②『挑戦と無謀を一緒に持ち歩くな』
- ③「金星」/平沢進
- ④爪を切る
- ⑤「割に合わないことをやりなさい」/小玉歩

15

女性委員長

松井 節子 (まつい せつこ)



Setsuko Matsui

- ①第一生命保険(株)秋田支社
- ②為せば成る為さねば成らぬ何事も
- ③「人生の扉」/竹内まりや
- ④身体を動かす、楽しかった事を思い浮かべる
- ⑤「致知」/致知出版社

女性委員会

女性経営者や会員が「明朗・愛和・喜働」の精神に基づき、家庭・職場・単会(地域)でリーダーシップを発揮できるよう支援する組織です。

16

女性副委員長

小松 留里子 (こまつ りりこ)



Ruriko Hamatsu

- ①(有)ふあいん
- ②笑顔を絶やさず、前を見る
- ③演歌
- ④ウォーキング
- ⑤サスペンス

会員にとって
良い会にするために
一生懸命
がんばります!

ご意見ご要望などございましたら、役員へお気軽にお声がけください。



【1】研修を行なう一般社団法人倫理研究所 丸山 敏秋 理事長 【2】理事長研修後にみんなで記念撮影 【3】皆で倫理法人会憲章を読み上げる様子 【4】【5】理事長の研修を真剣に聞く会員たち

令和8年度 理事長研修

■令和7年11月3日(月) ■ホテルメトロポリタン秋田

令和7年11月3日(月) ホテルメトロポリタン秋田にて、一般社団法人倫理研究所 理事長 丸山 敏秋氏を講師に迎え、「理事長研修」を開催いたしました。当日は、役員の方々に加え、次世代を担う会員の皆さまにも多数ご参加いただき、倫理の学びを深める大変有意義な機会となりました。

本研修では、「純粹倫理」をテーマに講話が行われました。価値観の多様化や社会環境の急速な変化により、先行きが見えにくい時代において、人として、また経営者として何を拠り所に生きていくのが改めて問われています。講話では、こうした時代背景を踏まえながら、倫理の本質について分かりやすく語られました。純粹倫理とは、宗教や思想、学説ではなく、「実行によって直ちに正しさが証明できる生活の法則」であることが強調されました。頭で理解するだけでなく、日常生活や仕事の現場で実践することによってこそ、その真価が実感できるという考え方は、多くの参加者に深い気づきをもたらしました。

また、人生や経営の中で避けることのできない「苦難」についても触れられ、苦難は決して不幸な出来事ではなく、より良い生き方へと

次世代へつなぐ倫理の学び —— 純粹倫理の本質を学ぶ

導くための「気づき」や「学びの機会」であることが示されました。苦難の原因や意味を自ら省みることで心の在り方が整い、結果として状況が好転していくという倫理の考え方が、具体的な事例を交えながら伝えられました。

さらに、「明朗」と「愛和」の実践についても語られました。明るく朗らかな心で人と接し、相手を思いやり、調和を大切にすることは、家庭や職場、さらには地域社会に良い循環を生み出します。まず自分自身が変わることが周囲を照らす光となり、組織や社会全体を明るくしていくというメッセージは、参加者一人ひとりの胸に深く響く内容となりました。

講話の締めくくりでは、倫理の学びは特別な場に限られるものではなく、日々の挨拶や返事、後始末といった小さな行動の積み重ねの中にこそあることが改めて確認されました。倫理を学び、実践する仲間を一人でも増やしていくことが、社会全体の健全な発展につながるという思いが共有され、本研修は大きな学びと決意を新たにすることができました。